

ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク
http://www.kaken-shakyo.jp/

第 245 号
令和5年3月1日発行



一般社団法人
鹿児島県老人福祉施設協議会
「第11回介護フォトコンテスト
かごしま」入選作品より

【一般部門】
①「俺の意外な趣味」
②「キャンパ〜イ！」
⑦「102歳、いつもの朝」



⑤「主婦歴70年栄養士にも負けません」

【介護スタッフ部門】
③話を聞いてくれておおきになあ。ほい
どんからん はんな あごマスクでよか
とや??
(おおきに=ありがたう
ほいどんからん=でも
はんな=あなたは)

④「最新のロボットでトイレまで歩ける
ようになりました!」
⑥「わあー芸能人がやって来たあー?!」
⑧「昔取った杵柄」



地域福祉部	
在住外国人生活支援モデル事業の取組	2
生活支援部	
介護・障害福祉就職支援金・準備金のご案内	3
長寿社会推進部	
かごしまシニア人材育成促進事業がスタート!	4
あなたのまちのアクティブシニア	
「城琴平会」(与論町)	4
シルバー文化作品展入賞作品の施設展示	5
ボランティアセンター	
本県の「福祉教育」の充実・発展に向けて	6
志布志市災害ボランティアセンター設置・運営訓練	7

福祉人材・研修センター	
「福祉のお仕事してみませんか?」	8
総務部	
宿泊施設の御案内	9
介護実習・普及センター	
介護実習・普及センターの紹介	10
県共同募金会	
共同募金運動実績、助成希望申請受付	11
インフォメーション	12



『在住外国人生活支援モデル事業』に取り組んでいます ～在住外国人も安心して暮らすことができる地域社会を目指して～



本会では、令和4年度から共同募金配分金を活用して「在住外国人生活支援モデル事業」に取り組んでいます。在住外国人が増加する中、地域で孤立することなく安心して生活を送ることができるような支援体制の構築を目指して取り組む事業です。



在住外国人生活支援モデル事業の概要

在住外国人生活支援モデル事業（令和4年度～6年度）

技能実習生をはじめとする
在住外国人



地域

地域の一員として
受け入れる

地域の関係機関・団体や
地縁組織との連携

交流を通じて
心の距離を縮める



地域におけるインフォーマルな地域資源の発掘と包括的な支援体制の構築

鹿児島県では、外国人就労者をはじめ在住外国人が増えています。在住外国人は、「言葉の壁」「心の壁」「異なる文化や生活習慣の壁」により、地域に溶け込むことが困難なことが多く、自治会や集落等の地縁組織との関わりも弱いことから様々な生活課題を生じることが多くあります。こうした方々が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるような支援体制を構築することを目的にこの事業に取り組むことになり、初年度の令和4年度は、モデル地区として出水市社会福祉協議会の協力をいただきながら、右の4つの事業に取り組んでいます。2「支えること」(安心生活支援事業)において、1月24日(火)に出水市民生委員協議会や米ノ津東地区コミュニティ協議会、出水市社会福祉協議会の参加のもと、関係機関連絡会を開催し、在住外国人との関わり方の現状等について意見交換を行いました。連絡会では、自治会や地域住民も在住外国人との交流の「きっかけ」を待っていること、交流の機会を設ける必要があること等、活発な意見が交わされました。連絡会を通じて、関係機関・団体が連携を図りながら支援の輪を広げていくことの必要性を確認しました。

事業概要

- 1 「**知ること**」(困りごと実態把握事業)
 - ・ 在住外国人向けアンケート調査の実施
 - ・ 地域住民向けアンケート調査の実施
- 2 「**支えること**」(安心生活支援事業)
 - ・ 関係機関連絡会の開催
- 3 「**つながること**」(地域つながり支援事業)
 - ・ 地域住民との交流会の実施
- 4 「**伝えること**」(全県域対象事業)
 - ・ 在住外国人生活支援研修会の開催



生活の様子を聞き取り



関係機関連絡会の様子

お問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部

TEL : 099-257-3855 E-mail : chiikifukushi@kaken-shakyo.jp

介護・障害福祉分野への再就職を応援します。 ～支援金・準備金のご案内～

**全額免除
あり**

○介護分野就職支援金

- ・他業種から介護分野に就職する方

貸付条件

- 貸付額:20万円以内
- 金利:無利子

◎障害福祉分野就職支援金

- ・他業種から障害福祉分野に就職する方



◎介護人材再就職準備金

- ・介護の職場に再就職する方、した方

貸付条件

- 貸付額:40万円以内
- 金利:無利子

全ての資金において、**貸付対象者**や**応募資格等**の**貸付条件**がありますので**直接お問い合わせいただくか、本会ホームページをご確認ください。**

HPはこちら



○の資金



◎の資金

～支援金・準備金を利用された方の声～

【社会福祉法人 隣の会に勤務されている上園 昇(うえぞの のぼる)さん】

建築業界から介護業界への転職を考えていた時に、この資金があることを知りました。

この資金のおかげで、仕事に必要な持ち物や作業服などの必需品を十分にそろえることができました。

また、国家資格である介護福祉士の資格取得につながる研修費用もまかなうことができ、現在入職2年目ですが先輩スタッフと一緒に施設を利用される高齢者の方々の生活を支援させてもらっています。

免除要件である2年間の従事期間は、介護福祉士の資格取得を目指しているので一つの通過点としてとらえています。

「高齢者介護や障害者福祉で人の力になりたい」と考えられているのであれば、この制度を利用してみてください。



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部 TEL:099-214-3701
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

かごしまシニア人材育成促進事業がスタート！

地域活動に意欲のある高齢者の社会参加の促進を図るため、市町村または市町村社会福祉協議会が行う高齢者の人材育成等を支援することを目的に、令和4年度から「かごしまシニア人材育成促進事業」（「かごしまシニア人材育成活用事業」の後継事業）を実施しています。

本年度は、北薩地域ほか2地域で実施し、講師として、株式会社トライローク代表取締役の平山猛氏と、同社取締役の加留部貴行氏にご指導いただきました。

本事業では、2日間の本研修の中でアクションプランを作成した後、半日のフォローアップ研修を実施して、高齢者の方々が地域でより豊かに過ごされるための支援をしてまいります。今後3月までに、本年度開催した地域のすべての市町村における「活動好事例集」と、研修会に参加してアクションプランを作成した地域の「市町村等による取組事例集」を作成・配布する予定です。

1 人材育成基礎研修

市町村行政と市町村社会福祉協議会の職員の方々に参加していただき、シニア人材の育成に必要なスキルの一つとして、“ファシリテーション”について学びました。



2 人材育成講座・人材育成実践研修

地域住民・市町村行政と市町村社会福祉協議会の方々が一堂に会し、お互いの住む地域の情報交換をしたり、自分たちの住む地域の課題を共有し、課題解決のためのアクションプランを作成しました。



3 フォローアップ研修

みんなで作成したアクションプランの進捗状況を振り返り、うまくいっていることや困っていることを共有し、次の一歩と新たな目標について考えました。



4 事例集の作成

- ・北薩地域・大島地域【徳之島等】・大隅地域【肝属地区】の「活動好事例集」
- ・「市町村等による取組事例集」（アクションプラン実践事例集）

受講者の声

- ・地域の人との連携を深めることにより、地域づくりを行うことができたと改めて実感した。
- ・日頃、難点と思っていたことを一歩突き進めて真剣に考えられた。
- ・アクションプランを立案する時から、地域の方に寄り添いながらニーズ把握ができ、解決できそうなことを考えてやってみるという流れが、とてもありがたいと感じている。

お問い合わせ：鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部 ☎099-250-7441

あなたのまちのアクティブシニア



島の南西部にある城地域は、城下のなごりを残し、地域住民の団結力が強いところです。

「老人」という言葉をあまり好まない会員も多く、みなで名称改名について話し合いを持った結果、集落の近くに昔から敬い親しんでいる城跡と琴平神社があることから「城琴平会」と命名しました。会員の健康と友愛活動を高め、地域奉仕活動やふれあい活動に努めることを目的に、会員80人で活動しています。

主な活動は、会長を中心に役員11人が2ヶ月に1回定例役員会と随時に三役会を持ち、各部会で役割分担して、グラウンドゴルフ・サロン・清掃作業などの活動を実施・運営しています。

そのほか、毎月、会報誌城琴平会だより「くんぴら」を発行し、班長11人が各班3～6世帯に配布しており、高齢者の見守りも兼ねた活動として工夫した取り組みを行っています。

くすくすひらかい
「城琴平会」(与論町)



会長 麓 才良
<連絡先>
与論町社会福祉協議会
☎0997-97-5042

また、会長、副会長、見守り担当者、民生委員の4～5人で、80歳以上の高齢者30人を訪問し、話し相手になるとともに、その昔語りを収集し、後世になんとか残していきたいと取り組んでいます。

新たな見守り活動として、地域の小学校に通う児童の一人が、「自力で車イスで中学校に通いたい」と希望していることを知り、ボランティアによる登下校の見守り活動を始めました。

「なゆんがねー！なゆんがねー！むーるまーじん」（自分のできる範囲で無理なく、みんな一緒に楽しく和やか・おらかにをモットーに、会報誌の発行、高齢者の見守り活動など、会員の活動への参加率を高める工夫をしていきたいです。

また、活動に参加している会員のさらなる健康増進を図り、会員相互の絆を深めるとともに、活動に参加できない高齢者、子どもたちとのふれ合いを進めたいと思います。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。

第31回シルバー文化作品展入賞作品を福祉関係施設に展示しました

令和4年9月に鹿児島県歴史・美術センター黎明館で開催した「第31回シルバー文化作品展」の入賞作品を、多くの方々に鑑賞していただくことを目的に、入賞者から作品をお借りし、県内の福祉関係施設に展示しました。
(展示期間:令和4年11月～令和5年2月)

今回、展示にご協力いただいた作品提供者及び展示先は下記のとおりです。
(敬称略)

展示依頼先	部門	作品名	作品提供者
特別養護老人ホーム 愛泉園	洋画	枝垂れ桜	山口 幸一 (鹿児島市)
	写真	鹿ヶ原の夜景	領家 幸内 (鹿児島市)
軽費老人ホーム シルバーフラット 武岡台	日本画	馬頭観音	下野 悦郎 (鹿児島市)
	洋画	静かに港で	山方 展治 (鹿児島市)
	写真	本番	小村 悦子 (鹿児島市)
シルバータウン アルテンハイム 鹿児島	日本画	戦さなき世を願って	濱崎 芳實 (鹿児島市)
	"	さわやかな時	松元 紀子 (鹿児島市)
	洋画	寂光	樫山 高盛 (鹿児島市)
	写真	晩秋の刻	鈴木 弘信 (鹿児島市)
霧島市社会福祉 協議会	洋画	森の水鏡	谷口 隆 (霧島市)
	写真	寄り添って	徳田 廣行 (霧島市)
始良市社会福祉 協議会	日本画	儚む	室屋 勝男 (始良市)
南さつま市役所	洋画	木漏れ日の林道	濱田 昭博 (南さつま市)
鹿屋市社会福祉 協議会	洋画	Explosion 2022	西口 純一 (鹿屋市)
特別養護老人ホーム ピースフル立神	日本画	墨の北斎モドキ (波の華)	大江 辰也 (枕崎市)



【日本画:儚む】 始良市立図書館にて
作:室屋 勝男



【洋画:Explosion2022】 リナシティかのや福祉プラザにて
作:西口 純一

展示にご協力いただいた施設等からは、文化作品を鑑賞する機会が増えたこと感謝や喜びの言葉をいただくとともに、作品の提供者(作者)からは、展示する機会が増え、励みになるとの声がありました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症 重点プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(※)		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 （対人・対物共通）		5億円（限度額）		
年間保険料			350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

～本県の「福祉教育」の充実・発展に向けて～

鹿児島県総合教育センターと連携した「福祉教育推進セミナー」を初開催!!

ボランティアセンターでは、毎年11月に児童・生徒に対する福祉教育を推進するための「福祉教育推進セミナー」を開催しています。このセミナーは、県内各地の社協職員や教職員、市町村の教育委員会・福祉担当課の職員・民生委員児童委員などから参加を得ていますが、教職員の参加が相対的にやや少ないことが課題でした。

令和4年度、初めて鹿児島県総合教育センターと連携し、福祉教育推進セミナーを開催しましたので、ご紹介します。

【福祉教育推進セミナー】令和4年11月24日(木)《かごしま県民交流センターにて》

学校での福祉教育がより一層活性化することをめざし、令和4年の福祉教育推進セミナーは、県総合教育センター主催の「豊かな人間性や社会性を培うボランティア・福祉教育講座」(以下「短期研修講座」という)と同日に開催し、教職員は午前中に短期研修講座を受講し、引き続き午後の福祉教育推進セミナーに参加するという初の連携講座スタイルとなりました。



【セミナーの内容】

行政説明

県教育庁社会教育課 社会教育主事 本山智彦氏

「地域学校協働活動」について県内の具体的な取組事例をもとに、地域と学校が一体となって子どもたちを育てる重要性を詳しく解説されました。

事例発表

鹿児島大学附属小学校 渡邊 健二教諭 と 児童7名

総合的な学習の取組である自分探求クラブの「ウェルビーイング」がどんな人も普段の暮らしが幸せになる世の中にしたいという願いで調査や体験したことを発表しました。

講演

大阪教育大学教育学部 特任教授 新崎 国広氏

軽妙な大阪弁と手話を交えて聴衆の心をしっかりと掴み「福祉とは何か」「福祉教育の目的や現状・具体例」などを分かりやすく話されました。



このセミナーに後援をいただいている県教育委員会からは、社会教育との関連について説明をいただきました。参加者からは「学校と福祉専門職、地域が協働した福祉教育の必要性についてよく分かった。全ての人にとっての福祉教育の実現を目指していきたい。」との意見や感想が多く出されました。



事例発表では、子どもたちも自らが作り上げた説明資料で発表してくれました。参加した教職員からは「児童の自主性を最大限に生かした素晴らしい総合的な学習の時間の取り組みである。本校でも探求クラブのような形式で行っているが、越年で実践したり、児童自身が説明資料をまとめたりなど、大変勉強になった。」「子どもたちの課題解決に向けた実践に感銘を受けた。」などの意見や感想が出されました。



福祉の現状や課題について分かりやすく話しされました。「お節介」や「助け上手、助けられ上手」などの言葉が表す関係性や福祉と教育の共通点などを切り口に、福祉教育への理解が深まる講演内容でした。参加者からは大変好評で「もっとお話を聞きたい。」という声をいただきました。

ボランティアセンターでは、今後も福祉教育に携わる方々が楽しく主体的に福祉教育を推進できるよう、セミナーの充実・改善を図るとともに、より多くの参加が得られるよう努めることとしております。

令和4年度鹿児島県総合防災訓練 ～南海トラフ巨大地震による地震・津波被害に備えて～

志布志市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

～大隅地域の市町社協及び青年会議所、志布志市内のボランティアなど46人が参加～

政府の地震調査委員会が昨年1月に公表した国内の地震発生の確率によれば、今後40年以内に南海トラフでマグニチュード(以下「M」という。)8～9級の地震発生確率を90%に見直しました。この南海トラフの巨大地震が発生すると、地震と津波による被害が広範囲に発生すると予想されており、本県も大きな被害を受けると想定されています。鹿児島県ではこうした被害予測を踏まえ、南海トラフ巨大地震や津波に備えるべく、志布志市、大崎町、東串良町と共催で鹿児島県総合防災訓練を開催することになりました。

この訓練に、鹿児島県社会福祉協議会と志布志市、大崎町及び東串良町の社会福祉協議会のほか、大隅地区社会福祉協議会連絡協議会、日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会、鹿屋青年会議所及び新大隅青年会議所、志布志市内のボランティア連絡協議会等の参加を得て、令和4年11月5日(土)に志布志市災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行いました。

令和4年度の県総合防災訓練は志布志市をメイン会場とし、災害ボランティアセンター設置・運営訓練も同市の有明総合体育館を会場に行いました。

訓練想定は、11月4日に東海、東南海、南海及び日向灘を震源とするM9.1の巨大地震と大津波が発生。これにより浸水域の孤立者や海上の漂流者、家屋倒壊等による要救助者等が発生。志布志市災害ボランティアセンター設置・運営訓練では、地震発生翌日の津波警報解除後、被害のあった住民から徐々に復旧支援の相談が寄せられ始めるとともに、避難所生活で困り事を抱える要配慮者等に対し、集まったボランティアを迅速かつ効果的な支援に結び付ける訓練を行いました。



ボランティア受付

今回の訓練で特に留意した点が“ICTの活用”と“運営の効率化”でした。まず、ICTの活用については、県総合防災訓練では初めてとなる受付用QRコードとQRコードリーダーを用いた受付、活動上の注意事項に関する配信動画の上映などを導入したことで、集まったボランティアの滞留を減少させる効果がみられました。一方で、活動上の注意事項に関する配信動画は、安定的な上映に向けた機材整備が課題となりました。

マッチング・グルーピング

そのほか、被災ニーズとのマッチングやボランティアのグルーピングに使用する書類の一部を意図的に減らす試みを通して、運営に携わる者が書類整理に追われたり、ボランティアへの記入要領説明や問い合わせに応じたりといった時間を減らせる効果がみられました。



鹿児島県社会福祉協議会では、今後も市町村社会福祉協議会や関係機関・団体等と連携を深めるとともに、新型コロナウイルスの感染リスクの低減やICTの活用などによる災害ボランティアセンターの効率的運営に努め、災害時における被災者支援を迅速かつ効果的に展開できるよう取組を進めていくこととしています。

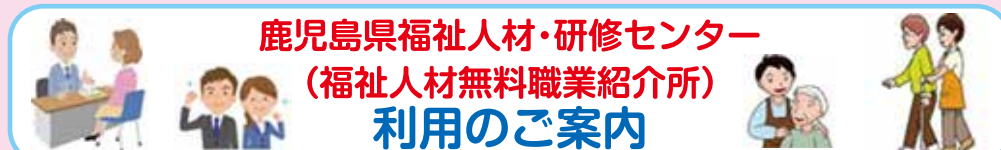


被災者への支援活動

被災ニーズ受付

(左) 電話聞き取り (右) 対面聞き取り

地域の「幸せ」を支える 福祉のお仕事, してみませんか!



鹿児島県福祉人材・研修センター (福祉人材無料職業紹介所) 利用のご案内

- ①福祉の仕事に就きたい, ②福祉の仕事に興味がある・資格取得方法を知りたい など
資格や経験の有無にかかわらず, お気軽にご相談ください!
また, 新型コロナウイルス感染症の影響で解雇・雇止めなどにより離職された方なども是非ご相談ください。

鹿児島県福祉人材・研修センターとは?

- ◆福祉人材センターは, 社会福祉事業等従事者の確保を図ることを目的に, 社会福祉法に基づき設置されており, 鹿児島県では「社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会」が県知事の指定を受け, 厚生労働大臣の許可を得て, 「鹿児島県福祉人材・研修センター」の名称で無料職業紹介事業等を実施しています。

どんなことをしているの?

人材センター紹介
動画はこちら →



1 来所相談【無料】

求人情報や必要な資格, 仕事内容などの情報提供, 就職に向けて事業所の紹介・あっせんを行っています。(事業所の方も相談可能。)

★ 県福祉人材・研修センター (県社会福祉センター 6階)

- 平日相談
月～金曜日午前8時30分～午後5時
(祝日・年末年始 12/29～1/3を除く)
- 夜間相談 毎月第1・3金曜日(原則)
(午後5時～午後8時)※受付は午後7時まで

★ ハローワークでの出張相談

各地で定期的に福祉の仕事に関する相談をお受けしています。予約もできます。
お気軽にお越しください。

※ 詳細は, 鹿児島県社会福祉協議会ホームページ(※)>「福祉の仕事」>
「鹿児島県福祉人材研修センター」
をご覧ください。

※ <http://www.kaken-shakyo.jp/>

※ 県社協ホームページはこちら →



2 「福祉のお仕事」ホームページ求人情報提供

県内事業所の求人情報等を提供。どなたでも検索できます。
下記のホームページで利用登録をお願いします。(パソコン・スマートフォン等お持ちでない方はセンターで代行登録します。)

資格をお持ちの方

- 「届出をする」
→ 利用登録(届出登録)
→ 求職票登録

(イメージ)



求職者の方

- 「仕事を探す」
→ 利用登録
→ 求職票登録

求人事業所の方

- 「求人を出す」
→ 利用登録
→ 求人票登録

事業所 紹介対象

- ◆高齢者関係施設(特別養護老人ホーム, ケアハウスなど)
- ◆障害者関係施設(障害者就労継続支援施設, 障害者支援施設など)
- ◆母子福祉・児童福祉関係施設(児童養護施設, 保育所, 母子生活支援施設など)
- ◆介護保険事業所(訪問介護, 通所介護, 介護老人保健施設, 認知症対応型共同生活施設など)
- ◆社会福祉協議会, 在宅介護支援センター など

※ 「福祉のお仕事」のホームページは, 全国社会福祉協議会が運営する福祉に関する全国的な求職等のWebサイトです。

職種 紹介対象

介護職員, ホームヘルパー, 介護支援専門員, 生活相談員, 生活支援員, 児童指導員, 保育士, 看護職, 保健師, 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士, 栄養士, 調理員, 事務職員 など

福祉のお仕事ホームページはこちら →



(お問い合わせ先)

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 (県社会福祉センター6階)

TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363 <http://www.kaken-shakyo.jp/>

鹿児島県社会福祉センター宿泊室のご案内

研修会や旅行・ビジネス、病院の付き添いなど
どなたでもご利用いただけます

県庁向かい、
医師会病院北



客室のご案内

● 洋 室 (2 室)



宿泊室 (洋室)

洋室は、バリアフリー仕様のトイレ、浴室
があります。



障害者用バリアフリー仕様の浴室

● 和 室 (5 室)



宿泊室 (和室)

和室は、トイレ・お風呂 (ユニットバス
タイプ) が共用になります。



浴室 (共用)

○ 休憩料金表 (泊無し 午前 10 時～午後 4 時) (円)

区 分	3 時間以内	6 時間以内
1 室 1 人	500	1,000

○ 宿泊料金表 (円)

区 分		和室	洋室	身体障害者
大人	1 室 1 人利用	3,000	3,400	2,500
	1 室 2 人以上利用	2,600	3,000	
子ども (小学生以下)		1,500	1,700	1,250

- 宿泊施設を利用される方は、窓口または電話にて空き状況のご確認と事前予約をお願いします。
- チェックインは午後 4 時から、チェックアウトは午前 10 時までです。
- 料金は、1 人あたりの宿泊料金 (5 歳未満の乳幼児は無料) で、食事はついていません。
- 宿泊当日のキャンセルは、1 人につき 500 円をいただきます。
- 宿泊室には、ゆかた、リンスインシャンプー、ボディソープ、歯ブラシセットの備え付けがあります。タオル等はお持ちください。

館内のレストランと売店のご案内

* レストラン * ピースフルガーデン

営業時間 9:30 ~ 17:00
ラストオーダー 16:30
日曜・祝日休業
毎週月曜 10:00 ~ 11:00
は休業
TEL 099-254-9305



* 売店 * 県身体障害者連合会

営業時間
月・水・木・金曜の
9:30 ~ 16:00
火・土・日・祝日休業
電話は、県社会福祉
協議会総務部管理室へ



所在地 鹿児島市鴨池新町 1 番 7 号

【お問い合わせ先】

鹿児島県社会福祉協議会 総務部管理室

TEL 099-251-3232

FAX 099-251-3231

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

鹿児島県介護実習・普及センターは 介護に関する知識・技術の普及啓発のための総合的な拠点です

当センターでは、県民の皆様が、住み慣れた家庭や地域で生きがいをもって、安心して暮らし続けることができるように、介護に関心のある方、居宅で介護される家族、福祉施設等の介護専門職員を対象に講座や研修を行っています。また、介護者の負担を軽減し、高齢者の方々の自立を図るための福祉用具を展示したり、選び方や使い方などについての相談に応じたりしています。

そのほか、介護離職の防止や就労の継続を図るとともに、介護人材の育成・確保を目指すために、地域の企業や団体へ専門講師を派遣する介護教室、さらには、高齢者や障害のある人に対する理解を深め、将来の介護の担い手育成を図るために、県内の小・中・高校等で、高齢者疑似体験・車いす体験・ユニバーサルデザインと自助具体験の活動を行うジュニア福祉体験教室を開催しています。（※センター近隣の学校は、来所による福祉体験教室を実施しています。）

講座・研修

講義や実技を交え、介護の基礎から専門的な知識・技術を分かりやすく学ぶことができます。いろいろな分野の講座・研修（40回程度）を、年間を通して開催しています。

来年度のご案内は3月下旬に行い、4月1日からの申込み受付になります。介護に関心のある方なら誰でも参加できます。ぜひお申し込みください。（体温測定、フェースシールドの配布などを行っています。）



介護・介護ロボット相談

介護や介護ロボット試用貸出等に関する問い合わせや来所による相談、電話による相談に応じています。お気軽にご利用ください。

福祉用具の常設展示

介護ロボットをはじめ、ベッド、車いす等の移動機器、排せつ用具、自助具など約600点の福祉用具を常設展示し、見学だけでなく、実際に触れて、体験することができます。（※販売は行っていません。）年間を通して多くの方が来所されています。誰でも自由に利用できますので、ぜひお越しください。

（入り口で、体温測定と個票への記入のご協力をいただいています。）



介護図書・DVD貸し出し

介護や福祉に関する図書やDVD等の貸し出しを行っています。貸出期間2週間。1回の貸出数：図書3冊、ビデオ・DVD1本まで（かごしま県民交流センター発行の「利用者カード」が必要。即日発行可。）

センター来所による福祉体験教室

高齢者疑似体験では、装具を体に装着し、高齢者の日常動作を体験します。体の不自由さや目の見えづらさなどから、高齢者の身体的・心理的な変化を感じてもらいます。車いす体験では、利用者とヘルパーの両方を体験し、坂道の難しさや声かけの大切さを学ぶことで、相手を思いやる心を育み、共生の意味を学びます。ユニバーサルデザイン・自助具体験では、誰もが住みやすいまちづくりの考え方や実際に作り出されたものの活かし方について学びます。令和4年度も多くの学校・団体が来所され、学習されています。総合的な学習の時間や社会科見学等の体験活動としてぜひご利用ください。

（3密と用具の使いまわしを避けるため、1団体・グループ各体験およそ20名以内でお願いしています。）



お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター（福祉用具展示）（運営：社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会）

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号（かごしま県民交流センター2階）

TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384

E-mail : kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【利用時間：9:00～17:00 休館日：月曜日（※祝日の場合は翌日）、12/29～1/3】



県共同募金会からの
お知らせ



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



76回目となった令和4年度の赤い羽根共同募金運動は、各市町村共同募金委員会を中心に、自治会をはじめ企業や学校など多くのボランティアの皆様にご尽力いただき、県民の皆様からも温かい善意が寄せられました。皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。募金の内訳は右表のとおりです。

令和4年度共同募金 目標額と実績額

区 分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額前年度対比	
				増減 (円)	比率 (%)
一般募金	217,591,000	209,555,930	96.3	222,627	100.1
歳末 たすけあい 募金	地域歳末 たすけあい	37,909,000	34,438,589	90.8	△ 2,182,932
	NHK歳末 たすけあい	4,500,000	3,348,776	74.4	△ 1,206,425
合 計	260,000,000	247,343,295	95.1	△ 3,166,730	98.7

共同募金社会福祉施設助成希望申請の受付について

民間社会福祉施設の増改築及び補修、備品及び設備の整備等のため、令和5年度の共同募金を財源とする令和6年度の助成を希望される施設等の申請を受け付けています。

- 受付締切／令和5年4月10日
- 助成決定／令和6年4月
- 事業実施／令和6年4月～翌年3月

中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る要望の受付について

県共同募金会が要望申請の窓口となっている中央競馬馬主社会福祉財団の助成事業について、要望の有無を事前に把握するため、令和5年度に助成を要望される団体の要望書を受け付けています。

- 受付締切／令和5年3月31日
- 助成決定／令和5年7月以降
- 事業実施／助成決定後令和5年度中に着手・完了

NHK歳末たすけあい ありがとうのメッセージ

一輪車とキックスケーターをありがとう！

児童養護施設 友愛学園(鹿児島市)

今回も温かいご支援をいただきありがとうございました。子どもたちが使用する一輪車とキックスケーターを購入しました。子どもたちは外で遊ぶことが大好きなので、一輪車には乗れない子も頑張って練習して乗れるようになってほしいと思っています。



お問い合わせ先

鹿児島県共同募金会
〒890-8517鹿児島市鴨池新町1-7(県社会福祉センター内)
TEL 099-257-3750 FAX 099-259-4068

最新の情報はこちらから ▶



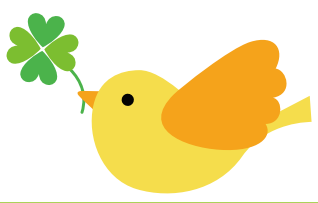
ツイッター



ホームページ

インフォメーション

information



みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方々から、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。(令和4年11月～令和5年1月)

○鹿児島県電気工事業工業組合青年部協議会 様



鹿児島県電気工事業工業組合青年部協議会の皆様から、車椅子寄贈のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。

令和4年12月

鹿児島県電気工事業工業組合青年部協議会
会長 田代 晃一 様(左から2番目)
専務理事 白石 英夫 様(左端)
受領した始良市社会福祉協議会
会長 深浦 卓二 様(左から3番目)

○一般社団法人生命保険協会鹿児島県協会 様



一般社団法人生命保険協会鹿児島県協会から、福祉貢献活動の一環として、枕崎市社会福祉協議会と伊仙町社会福祉協議会に福祉巡回車を寄贈されました。

令和5年1月

一般社団法人生命保険協会鹿児島県協会
会長 木戸 伸治様(中央)
枕崎市社会福祉協議会 会長 赤木 正勝様(右から2番目)
伊仙町社会福祉協議会 会長 幸多 実 様(左から2番目)

※写真撮影に際しては、撮影の時間だけマスクを外してもらいました。

令和4年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などに **スケールメリットを活かした割安な保険料で 充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間 1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03(3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!

NEW 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。

(SJJ21-12224 から抜粋)